

一般行政  
みよりの郷東金の  
財政収支は



東金みらい  
清宮利男

**問** みよりの郷東金の赤字を増大させたのは、レストランを民間委託から直営に至る経緯が、問題点ではないかと思う。直営による従業員の給与は1年間で約1,800万円にもなるとのこと。民間事業者に公募した際の貸借条件であった456万円の年額賃料と共益費を無料にして公募すれば1,800万円の赤字が大幅に改善すると思うが、あらためて民間事業者へ委託する考えはないのか伺う。

**答** レストランの経営成立の確

医療行政  
看護師に対する  
スキルアップ教育の  
現状は



東嶺会  
相京邦彦

**問** 東千葉メディカルセンターに勤務している看護師の方々は、高尚な医療理念に賛同して応募してくれたものと思っている。また、より高度な医療技術を学ぶスキルアップ教育についても期待していると思う。また、現場を離れていた看護師の採用も積極的に行われており、復帰した看護師に対する再教育は、大変重要であり片手間な指導や業務の中での指導では、とても不可能と思われる。東千葉メディカルセンター内部での看護師教育は、どのような体制がとられているのか伺う。

**答** 看護師の新規採用者及び現場復帰者に対しては、採用後しばらくの間は各部署に配置せず、中央集合研修を実施している。その内容としては、基礎的な看護技術や専門用語等について教育を行うとともに配属後の看護業務がスムーズに行われるよう配慮していることである。

**問** 東千葉メディカルセンターは、資金不足のため平成26年度に5億円の短期借入れを行ったが返済できず、市は平成27年度分の県基金を前倒しして貸し付けるとのことである。さらに平成27年度も6億2,800万円の資金不足となる見込みと聞いているが市の対応を伺う。

**答** 6億2,800万円の資金不足については、設立団体として平成32年度から35年度の運営費2億円を前倒しして、特別交付税の減額分約5千万円を補填し、法人が5億円の短期借入れを行う。短期借入れ5億円については、法人の自己努力で1億5千万円を返済し、残りの3億5千万円は平成28年度の県基金から貸し付ける。

**問** 東金駅周辺の活性化には、駅の西口と東口を一体化することが重要である。東口への改札設置については、JR東日本千葉支社に対し平成19年度より毎年継続して要望を行っているが、「駅一改札」の原則から現状ではかなり難しい状況とのこと。不可能なことをいつまでも要望し続けていくのではなく、地元企業や商工会等と連携し東金駅の橋上化を検討すべきと考えが見解を伺う。

**答** JRに確認したところ、駅前整備など市のまちづくりの環境としてであれば協議に応じるとの回答を得ている。しかし、平成28年3月末に完成予定のJR成田線・新木駅の橋上駅舎工事では、費用約15億3千万円のうち市負担が約15億円とのこと。財政計画を立て直さなければ、無理であることから、少子高齢化に向かう中で施設のあり方について検討しながら利便性向上とバリアフリー化を切り口に要望活動を続けていきたいと考えている。

一般行政  
東金駅の駅舎改修で  
周辺地域の活性化を



東金みらい  
渡邊直樹

医療行政  
医学部進学生徒への  
奨学金助成について



東金みらい  
佐久間治行

**問** 山武長生夷隔保険医療圏は、医師の数が特に少ない地域と言われている。東千葉メディカルセンターが開院して改善される方向にあると思うが、今後地域の医師を育成していくために奨学金助成の必要があると思うかが。県内の状況も踏まえて伺う。

**答** 地域での医師確保・育成は、一部市町村で奨学金制度等を導入している事例もあるが、基本的には医療圏を単位として県が行うべきと考えている。これは医療法第30

**問** 東金市での農業の現状は、かなり深刻である。TPP問題、農家戸数の減少、担い手はおらず、更に今年度から生産調整を達成した農家への交付金(経営所得安定対策)が半減し、三年後には打ち切りとなる。「米価変動補填交付金」も廃止となった。それに追い討ちをかけたのが米価の暴落である。このように農家の方が大変な状況の中で行政としてどのような支援ができるのか伺う。

**答** 国は様々な施策を打ち出しているが特に「農地プ

農業振興  
農業者への市の支援を



日本共産党  
櫻田あや子

**問** 平成26年度が終わりになるうとして、この一年間を通して東千葉メディカルセンターの学ぶべき点、反省すべき点をどう考えているのか。平成27年度の運営面にどう生かすのか伺う。

**答** 開院後、病院運営を進めていく中で開院前の計画段階と比較して相違点が出てきているとのことである。

**問** いじめ問題は、学校だけの問題ではない。どのように未然防止していくのか、市などの機関がどう連携し、対応するのか伺う。

**答** いじめ問題への対応については、校長会、生徒指導主任や長欠対策委員会、さまざまな出来事でも報告・相談できる体制づくりを行い、教育委員会と学校現場との連携を密にしなければならぬと考えている。

医療行政  
東千葉MC中期計画の  
4分の1が終了したの  
反省点は



東嶺会  
小倉治夫

**問** いじめ問題は、学校だけの問題ではない。どのように未然防止していくのか、市などの機関がどう連携し、対応するのか伺う。

**答** いじめ問題が発生した場合、「いじめ問題対策室」が中心となって対応し、保護者や学校に解決に向けて必要な調査や助言・支援等を行うと考えている。

教育行政  
「いじめ」問題への  
市での今後の取り組みは



東嶺会  
齊藤範吉

**答** 地域での医師確保・育成は、一部市町村で奨学金制度等を導入している事例もあるが、基本的には医療圏を単位として県が行うべきと考えている。これは医療法第30

**答** 国は様々な施策を打ち出しているが特に「農地プ

**問** 東金市での農業の現状は、かなり深刻である。TPP問題、農家戸数の減少、担い手はおらず、更に今年度から生産調整を達成した農家への交付金(経営所得安定対策)が半減し、三年後には打ち切りとなる。「米価変動補填交付金」も廃止となった。それに追い討ちをかけたのが米価の暴落である。このように農家の方が大変な状況の中で行政としてどのような支援ができるのか伺う。

**答** 国は様々な施策を打ち出しているが特に「農地プ

**問** 東千葉メディカルセンターは、資金不足のため平成26年度に5億円の短期借入れを行ったが返済できず、市は平成27年度分の県基金を前倒しして貸し付けるとのことである。さらに平成27年度も6億2,800万円の資金不足となる見込みと聞いているが市の対応を伺う。

**答** 6億2,800万円の資金不足については、設立団体として平成32年度から35年度の運営費2億円を前倒しして、特別交付税の減額分約5千万円を補填し、法人が5億円の短期借入れを行う。短期借入れ5億円については、法人の自己努力で1億5千万円を返済し、残りの3億5千万円は平成28年度の県基金から貸し付ける。

**問** 東金駅周辺の活性化には、駅の西口と東口を一体化することが重要である。東口への改札設置については、JR東日本千葉支社に対し平成19年度より毎年継続して要望を行っているが、「駅一改札」の原則から現状ではかなり難しい状況とのこと。不可能なことをいつまでも要望し続けていくのではなく、地元企業や商工会等と連携し東金駅の橋上化を検討すべきと考えが見解を伺う。

**答** JRに確認したところ、駅前整備など市のまちづくりの環境としてであれば協議に応じるとの回答を得ている。しかし、平成28年3月末に完成予定のJR成田線・新木駅の橋上駅舎工事では、費用約15億3千万円のうち市負担が約15億円とのこと。財政計画を立て直さなければ、無理であることから、少子高齢化に向かう中で施設のあり方について検討しながら利便性向上とバリアフリー化を切り口に要望活動を続けていきたいと考えている。

市政に関する一般質問